

ACANTHUS NEWS



「アカンサス」(和名「ハアサミ」)は、南ヨーロッパ原産で葉を様式化した文様はギリシャ建築などで有名。金沢大学の校章も、このアカンサスの葉を図案化したもの。

平成13年 **2001.9**

月刊アカンサスニュース
金沢大学広報紙 第60号

第3回運営諮問会議

TOPNEWS

8月8日金沢市内のホテルで、第3回運営諮問会議が開かれ、「研究活動及び地域貢献」をテーマに協議された。〔3頁に関連記事〕



開会のあいさつを述べる石原多賀子会長（金沢市教育委員会教育長）
＝金沢市内のホテルで



海洋観測の実習風景
＝九十九湾で

平成13年度公開臨海実習

8月19日から1週間、珠洲郡内浦町の理学部附属臨海実験所で平成13年度理学部公開臨海実習が行われ、全国から12大学21名が参加した。

この実習は各大学間の単位互換実習で、「動物の種の多様性を求めて：個体から・分子からのアプローチ」をテーマに実施された。

募 金

補償募金，はじまる

このほど，平成9年度及び平成10年度の本学理学部入学者選抜試験合否判定ミスに伴い，教職員に対して以下の「趣意書」のとおり補償に係る募金が呼び掛けられ，取り組みが開始された。

趣 意 書

- 1 募金目標額 1,300万円（理学部での募金500万円を含む。）
- 2 募金の額 1口（5,000円）以上。（5,000円以下でも構いません。）
- 3 募金の期間 9月3日～10月31日
- 4 申込方法 別添「募金申込書」に現金を添えて，所属される各部局等の総務担当係までお申し込み願います。
なお，募金の集金方法については，別途担当係からお知らせ致します。

平成9年度及び平成10年度における金沢大学理学部入学者選抜試験において，合否判定ミスを犯し，不合格とされた受験生とご家族には，多大なご迷惑をお掛け致しました。また，国立大学の入学試験制度の信用を失墜させることとなり，その社会的責任の重大さを痛感しているところであります。

合否判定ミスの内容，その経緯，原因分析及び再発防止のための対策並びに責任の所在と処分の内容については，学長名の文書並びに本学ホームページでお知らせしているところであり，全学教職員の皆様には事実の重大さをご認識のことと思います。

既に，受験生とご家族には副学長及び理学部教官等が出向いて，お詫びを申し上げ，合否判定ミスの説明等を行うとともに，受験生とご家族の精神的，経済的負担等についてもお話を伺いました。

経済的償いによって精神的負担が軽減されるものではないことは重々承知しておりますが，今や金沢大学を挙げて国立大学として果たすべき使命を真摯に受け止めるとともに，お詫びの誠意を表す必要があると考えます。

以上により，全教職員の皆様に募金の呼び掛けを行うことと致しました。既に理学部では500万円の募金が見込まれており，今後は，国立大学の会計制度上の補償も考慮しつつ，本学としての体制を整えたいと考えている次第です。

出費多端の折り，誠に恐縮に存じますが，何卒趣旨にご理解を賜り，ご賛同頂きますよう伏してお願い申し上げます。

目 次

第3回運営諮問会議	1	教養教育機構研究調査部＝講演会・研究会＝	8
平成13年度公開臨海実習	1	工学部で第1回新任教官初任者研修会	8
補償募金，はじまる	2	いしかわe-サイエンス (le-S)	8
第3回運営諮問会議を開催－「研究活動及び地域貢献」をテーマに協議－	3	地域に貢献する本学をアピール 金沢大学拡充整備促進協議会で講演	9
北陸3県高等学校校長等との入試懇談会開催	4	留学生による茶会，書道展を同時開催－半年の練習成果を発表－	9
金沢大学へようこそ！平成13年度大学見学会	4	本学が当番校第53回北陸地区国立大学体育大会	9
参加者の皆様，お疲れさま！夏期講習会		第2回全日本学生剣道オープン大会	9
社会教育主事講習	5	本学へのお客さま	10
学校図書館司書教諭講習	5	ブレPCカンファレンス 市民フォーラム開催	10
医学系研究科校舎（保健学専攻）建設住民説明会ひらく	5	東海・北陸地区国立学校等教室系技術合同研修（装置開発コース）	10
共同研究センター協力会を設立	6	「人事交流者との懇談会」	10
いしかわ環境フェア2001	6	7, 8月分の主な研究助成等	11
工学部「小・中学生のためのものづくり教室」	6	サテライト・プラザ	11
一つくって，なるほど，科学の手	6	編集後記	11
職場体験 ー職場の一員となって活躍ー	7	第18回全国都市緑化いしかわフェア	12
「わく・ワーク(work)体験」を実施し市内の中学生10人を受け入れ	7	遠い南極から	12
インターンシップを実施し大学生4名を受け入れ	7	各種広報物等を刊行	12
JAPAN TENT開催	7		

特集

第3回運営諮問会議を開催 — 「研究活動及び地域貢献」をテーマに協議 —



左から杉原弘泰委員，新木富士雄委員，梅田俊彦委員

8月8日，金沢市内のホテルで第3回運営諮問会議が開催された。

石原多賀子会長（金沢市教育委員会教育長）に続いてあいさつに立った林学長は，本学を取り巻く厳しい情勢に触れながら，新たな飛躍を目指す不退転の決意を述べた。

「研究活動及び地域貢献」を議題にした今回の運営諮問会議では，花岡副学長が，今後の本学

における研究の在り方について諮問理由の説明を行った。出席委員からは，大学院重点化を指向する研究等，地元産業にある最先端分野の研究の推進，学部教育を重視した上での大学院重点化，「トップ30」等について要望・意見が出された。また，地域との研究交流に関しては，集積度の高い高等教育機関の連携



左から徳田寿秋委員，宮太郎委員



冒頭であいさつする林学長

の在り方，環日本海の視野での学術文化継承の推進，大学博物館の必要性，ロースクール・ビジネススクール等について熱心に協議された。

当日の協議を基に諮問に対する「答申」がまとめられ，今秋，石原会長から林学長へ提出される予定。

7・8月のニュースの杜

北陸3県高等学校長等との
入試懇談会開催

7月25日、文・法・経済学部棟で平成13年度北陸3県高等学校長等と本学との入試懇談会が開催され、高等学校長及び進学担当教員等約120名が出席した。

懇談会では、畑副学長から、「平成14年度金沢大学入学者選抜に関する要項」の主な変更点等について説明があり、活発な質疑応答が行われた。



あいさつする林学長
=文・法・経済学部棟で

大学側に対して要望を述べる徳田寿秋石川県高等学校長協会会長
=文・法・経済学部棟で

金沢大学へようこそ！
平成13年度大学見学会

8月1日、角間、宝町、鶴間、小立野の4キャンパスで平成13年度大学見学会を開催し、約2,000名の参加者があり大盛況となった。

当日、午前中は、文学部、理学部、法学・経済学部、教育学部、医学・薬学部、工学部の6ヶ所に分かれて全体説明会が催され、大学の概要、各学部の特徴、大学が求める人物像等が説明された。午後からは各学部の見学会が催された。

また、8月24日には薬学部薬学講堂で、日本薬学会北陸支部主催の「第15回楽しい薬学部への一日体験入学」が開催され、高校生45名が参加した。



実験を
楽しむ参加者
=宝町キャンパスで



熱心に説明を聞く参加者
=工学部秀峯会館で

7・8月のニュースの杜

参加者の皆様、お疲れさま！

夏 期 講 習 会

社会教育主事講習

7月23日から8月24日まで、文部科学省委託事業として大学教育開放センター主催で平成13年度社会教育主事講習を実施した。講習第1時限目に、水上事務局長が「生涯学習の意義」を、また、7月24日には文部科学省生涯学習政策局の金口恭久生涯学習推進課長が「生涯学習関連施策の動向」を講義した。



講義する文部科学省生涯学習政策局金口恭久生涯学習推進課長
＝大学教育開放センターで

学校図書館司書教諭講習

7月30日から8月9日まで、文部科学省の委嘱を受けて教育学部棟で平成13年度学校図書館司書教諭講習を開催し、195名の参加者は、「学校経営と学校図書館」と「学校図書館メディアの構成」の2科目を受講した。



熱心に聴講する受講者
＝教育学部棟で

医学系研究科校舎(保健学専攻)建設
住民説明会ひらく

7月27日、鶴間キャンパスの医学部保健学科会議室で、医学系研究科校舎(保健学専攻)建設にかかる住民説明会がひらかれ、周辺住民13名が出席した。

平野雄喜男建築課長があいさつし、担当の補佐及び受注業者から建設工事について説明があり、出席した住民からは工事に伴う要望や意見が出された。鉄筋コンクリート造地上3階、延べ3,105㎡で、平成14年3月末竣工の予定。



住民に説明する本学職員
＝医学部保健学科会議室で

トピックス

共同研究センター協力会を設立

7月5日、金沢市内のホテルで、共同研究センター協力会設立総会及び懇談会が開催された。

設立総会冒頭で、花岡副学長が「会員の皆様方におかれましては、ぜひこの協力会を積極的に活用し、新しいビジネスの創造にお役立ていただきたい」とあいさつした。

会長には澁谷弘利石川県鉄工機電協会会長が選出された。



あいさつする花岡副学長（中央）
＝金沢市内のホテルで

いしかわ環境フェア2001



環境に配慮したキャンパス整備計画を説明する
田中敏夫共同研究センター助教授
＝石川県産業展示館で



キャンパス模型を説明する浦野勲研究協力課専門員
＝石川県産業展示館で

8月25日から2日間、石川県産業展示館で社団法人いしかわ環境パートナーシップ県民会議主催の「いしかわ環境フェア2001」が開催され、本学から共同研究センターが出展した。

工 学 部
「小・中学生のためのものづくり教室」
—つくって、なるほど、科学の手—

8月21日、工学部で「小・中学生のためのものづくり教室」が行われ、市内の小・中学生81名が参加した。

3回目となる今回は、「手こぎボートを作ろう」、「エアーカーを作ろう」及び「ソーラーカーを作ろう」と題して、3会場に分かれて製作に挑戦した。



ソーラーカー作りに励む子どもたち
＝技術支援センターで

職場体験 —職場の一員となって活躍—

「わく・ワーク(work)体験」を実施し 市内の中学生10名を受け入れ



“窓口業務”を体験
=8月1日, 附属図書館で

中学生が職場体験し将来の職業選択の一助にする「地域と共に『わく・ワーク(work)体験』事業」で、第Ⅰ期(7月23日, 24日), 第Ⅱ期(7月31日, 8月1日)の2回に分けて中学2校から2年生を各期5名ずつ受け入れた。

インターンシップを実施し 大学生4名を受け入れ



OCRを使用しての入力作業
=8月8日, 総合情報処理センターで

8月6日から10日までの5日間, 大学生4名を受け入れてインターンシップを実施した。

参加者は総務部と学生部の2グループに分かれて, 運営諮問会議や学務情報連絡会議の会場実務, パソコンを使つての書類作成や英文による電子メール作成及び学生の成績処理, アルバイトの求人票掲載作業等を体験した。

JAPAN TENT 開催



オープニングの歓迎式典
=7月27日, 金沢市文化ホールで

第14回 JAPAN TENT 世界留学生交流・いしかわ2001のプログラムの一つとして, 8月1日に日本武道の体験コースが開かれた。全国からジャパントントに参加した留学生のうち, このコースに参加した21名が, ビットマン・ハイコ留学

生センター助教授及び本学留学生らによる演武ののち, 杖道じょうどうの手ほどきを受けた。

初めての杖道に汗を流したあと, 本学の留学生及び日本人生たちとの交流会が持たれた。金沢の伝統的な遊び「旗源平」では, ジャパントント組が勝ちどきをあげて, 大いに盛りあがった。



“杖道”の指導をするビットマン・ハイコ留学生センター助教授
=角間キャンパス体育館で

トピックス

教養教育機構研究調査部 = 講演会・研究会 =

第1回講演会：「アメリカから見た
ニッポンの大学教育」

7月19日、総合教育棟会議室で第1回研究調査部公開講演会が、苅谷剛彦東京大学教授を講師に「アメリカから見たニッポンの大学」と題して実施され、教職員、学生を中心に約50名が参加した。



講演する苅谷剛彦東京大学教授
= 総合教育棟会議室で

第1回研究会：「工学部の授業評価
アンケートについて」

7月23日、総合教育棟会議室で第1回研究調査部研究会が開かれ、約10名が参加した。藤田政之工学部教務委員会委員長から「工学部の授業評価アンケートについて」報告を受けた。



報告する藤田正之工学部教務委員会委員長
= 総合教育棟会議室で

工学部で第1回新任教官
初任者研修会

講義する山崎光悦工学部教授
= 工学部第一会議で

8月31日、工学部第一会議室において工学部教育方法改善委員会の主催による第1回新任教官初任者研修会が開催された。

研修会には、講師以上の新任教官を中心に15名（関係者を含め約25名）が出席し、畑朋延工学部長が『魅力的な授業をするために』と題して講義し、よい研究の基礎により教育があることを強調した

なお、この研修会では、工学部教育方法改善委員会が工学部教官必携の教授法ガイドブックとしてまとめた『金沢大学工学部版教師必携』が活用された。

いしかわe-サイエンス(le-S)

石川県内の高校生に幅広い学習の機会と大学レベルの講義内容に触れる機会を与え、科学への興味を高めることを目的とした「いしかわe-サイエンス (le-S)」が、7月27日から31日までの5日間“集中講座”の形で教育学部棟で実施された。この企画は、石川県（企画開発部企画課）と理学部（計算科学科）の共同事業で今年で3回目となる。県が募集した14名の高校生が参加した。



作成したロボットで競技を楽しむ参加者
= 7月29日、教育学部棟で

トピックス

地域に貢献する本学をアピール 金沢大学拡充整備促進協議会で講演



講演する小林和久経理部長(右)と上口大介企画広報室企画係長
=金沢商工会議所で

7月6日、金沢商工会議所で金沢大学拡充整備促進協議会(会長：宮太郎金沢商工会議所会頭)の幹事会が開催され、本学からは小林和久経理部長と上口大介企画広報室企画係長が講師の依頼を受けて、角間第Ⅱ期総合移転の進捗状況や「金沢大学サテライト・プラザ」の概要等について講演した。

留学生による 茶会、書道展を同時開催 —半年の練習成果を発表—

7月10日、留学生による前期課外活動の仕上げを目的に、角間ゲストハウスで留学生による茶会、書道展が同時開催された。

茶会では、畑副学長をはじめ20名に、留学生は半年間で身に付けた御点前^{おてまえ}を披露した。

書道展では、各自の技量を生かした8点の作品が展示された。



留学生の自作による書
=角間ゲストハウスで

本学が当番校 第53回北陸地区国立大学体育大会

第53回北陸地区国立大学体育大会が、本学が当番校となって5月27日から約1ヶ月半にわたり行われ、北陸地区の国立大学6校から総勢2,441名の選手が参加した。



林学長(写真左)に宣誓する選手代表
=7月7日、角間キャンパス体育館で

第2回全日本学生 剣道オープン大会

7月28日から2日間、第2回全日本学生剣道オープン大会が宮城県仙台市体育館で開催され、本学の剣道部は3段以上の部で男、女各1名ずつが優勝するなど、多くの部員が優秀な成績を収めた。



多くの優秀な成績を収めた剣道部員
=8月16日、角間キャンパス体育館で

学長室

本学へのお客さま

学長表敬，意見交換及び視察のため来学された方々は以下のとおり



大連大学（中華人民共和国）
左から 小林 昭国際学術交流委員会委員長
由 業誠副校長
林 学長
王 洪涛外事处处长
廣瀬幸雄共同研究センター長

=7月19日，学長室で



レーゲンスブルグ市（ドイツ連邦共和国）
左から ビットマン・ハイコ留学生センター助教授
志村 恵文学部助教授
メラニー本学留学生
小林 昭国際学術交流委員会委員長
ダミンガー経済開発担当部長
林学長
シャイティンガー市長
遠藤 功法学部教授
楠根重和法学部教授
メルケ博士（通訳）

=7月26日，学長室で



ルブリン工科大学（ポーランド共和国）
左から 山田外史工学部教授
ヤノウスキー電気工学研究所長
林 学長
ストレチェスカ教授

=8月1日，学長室で

プレPCカンファレンス 市民フォーラム開催

本学，全国大学生生活協同組合連合会等が主催して8月6日から3日間開かれた「2001PCカンファレンス」を前に，8月5日，石川県教育会館で「2001プレPCカンファレンス市民フォーラム」が開催され，本学関係者や市民を含め約80名が参加した。



あいさつする林学長
=石川県教育会館で



あいさつする石原多賀子
金沢市教育委員会教育長
=石川県教育会館で

東海・北陸地区国立学校等教室系 技術合同研修（装置開発コース）



受講者を激励する久保総務部長
=工学部秀峯会館で

8月22日から3日間，工学部を会場に開催され，23名が受講した。研修では，「服務」及び「メンタルヘルス」を題材に講義が開かれた後，本学教官による専門講義が開講された。第二日目午後からは先の専門講義に関連した実験が6班に分かれてそれぞれ行われた。

「人事交流者との懇談会」



懇談会の意義について説明する水上事務局長
=事務局大会議室で

8月31日，事務局大会議室で本学から他機関に出向している職員75名のうち31名の出席を得て，「人事交流者との懇談会」を開催した。

研究助成

7, 8月分の主な研究助成等

このたび研究助成等を受けた本学関係分は、以下のとおり。

NEDO（新エネルギー・産業技術総合開発機構）平成13年度国際共同研究助成事業エネルギー分野

全179件の申請から本件を含めて18件が採択された。そのうち、エネルギー分野では8件の申請から本件の1件が採択された。

研究チーム名	研究者	研究開発課題	助成金額（万円）
高温集塵研究チーム	金岡千嘉男（工学部・教授） 古内 正美（工学部・助教授）	「石炭・廃棄物高効率発電用セラミック スフイルター高温集塵システムの開発」 （平成13年度～15年度の3カ年計画）	平成13年度 2,600 （平成14, 15年度も助成 予定）

平成13年度地域産学官連携豊かさ創造研究開発プロジェクト

研究参加機関	研究者	研究テーマ	石川県助成金（万円）
金沢大学他5機関	金岡千嘉男（工学部・教授） 他8名	多段蒸留方式による有機汚泥ゼロエ ミッション処理技術の確立	総額10,000 （平成13年度～平成15年度）

平成13年度金沢市地域研究助成事業

研究者	研究課題	市助成金（万円）
御影 雅幸（薬学部・教授） 他2名	加賀黄連の復活研究	50
浅野秀重（大学教育開放センター・助教授）	金沢市立小学校の校歌に関する研究 －こども像及び景観を中心にして－	30

平成13年度科学研究費補助金

配分額において、本学は全国の大学の中で第8位である。2,091件の申請があり、本件を含めて61件が採択された。

研究種目	研究者	研究テーマ	予定額(万円)(間接経費除く)
基盤研究S	狩野 方伸（大学院医学系研究科・教授）	シナプスにおける逆行性伝達物質としての内因 性カンナビノイドの作用機構と生理的意義	総額9,450 （平成13年度～平成17年度）
基盤研究S	金子 周一（大学院医学系研究科・助教授）	Genomics技術による新しい肝臓病学の確立	総額9,200 （平成13年度～平成17年度）

サテライト・プラザ

お知らせ：本年4月から金沢市西町教育研修館で開設した「金沢大学サテライト・プラザ」は、当館が復元改修されることになったため、7月14日から金沢市中央公民館彦三館に会場を移して毎週土、日曜日に開設しています。

北陸国際問題学会研究会

- 日 時：7月14日
- 行事名：北陸国際問題学会研究会
- 内 容：「転換期のスイス連邦制－カントンを
を中心に－」、「国内
避難民の国際的保護
－国連による取り組
みを中心に－」
- 来場者：5名



テーピング講習会

- 日 時：7月15日
- 行事名：テーピング講習会
- 内 容：テーピングについての講義テーピン
グ実習
- 来場者：50名



波動分科会 国際ワークショップ

- 日 時：8月6日から2日間
- 場 所：石川県立社会教育センター
- 行事名：波動分科会国際ワークショップ
- 内 容：プラズマ
波動及び電波の
観測による大気
圏等の状況につ
いて講演
- 来場者：約50名



編
集
後
記

今月号は、8月号が休刊のため、7月と8月の2ヶ月分で掲載記事が盛り沢山となりました。この中で「研究活動及び地域貢献」をテーマに開催された第3回運営諮問会議をトップニュースに取り上げました。また、小学生から大学生までを受け入れる行事が多く開かれました。「ものづくり教室」、「わく・ワーク(work)体験」、「大学見学会」及び「インターンシップ」の取材で、生き生きとした参加者と接して、将来を支えるのは、現在の若者等であることを新たに認識しました。

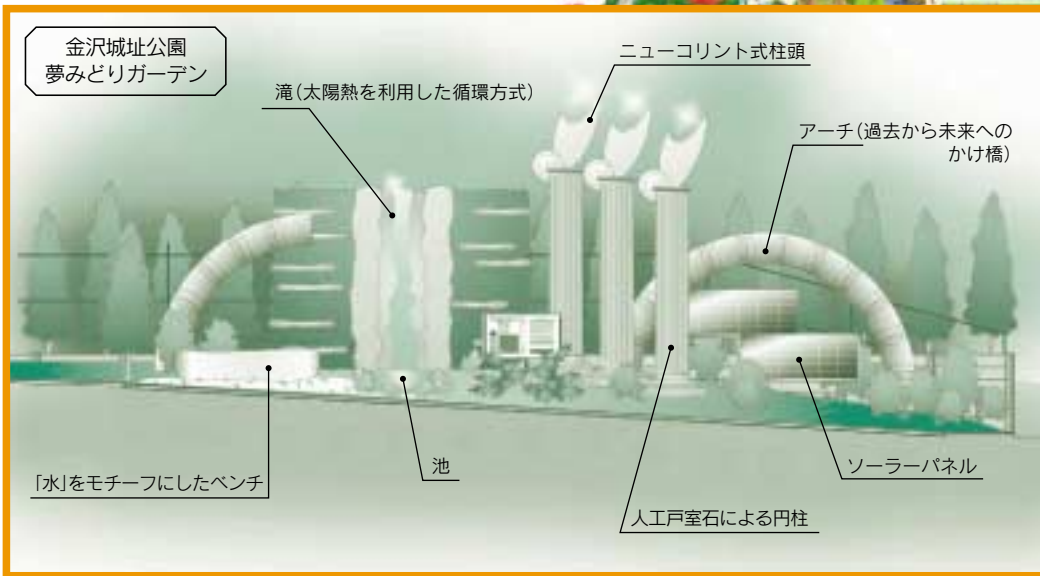
総務部企画広報室広報係長 橋 幹 宏

第18回全国都市緑化いしかわフェア

9月8日から11月11日までの2ヶ月にわたって開催される「第18回全国都市緑化いしかわフェア」で、本学はアカンサスをモチーフに「光・水・緑と大地のハーモニー」と題した庭園を出展し、来場者にアピールしている。(下図参照)



光・水・緑と大地のハーモニー



全体マップ

遠い南極から

「皇帝ペンギンの大きさは80cm程で、近くで見ても思ったほど大きくありません。毛並みがよく、つやつやしています。時々鳴き声も出しますが、逃げていく様子はありません。」

久保栄南極観測越冬隊員(技術支援センター技術専門職員)より



各種広報物等を刊行

このほど、総務部企画広報室では「金沢大学概要(平成13年度)」、「データで見る金沢大学(2001 summer~2002 spring)」、「金沢大学の課題と取組み—自己改革を目指して—」及び「金沢大学 現状と課題 第3号 2001」(大学基準協会相互評価報告書)を刊行した。



平成13年9月21日発行
(原則として毎月1回第3週に発行)

〒920-1192 金沢市角間町
編集 金沢大学総務部企画広報室

TEL 076-264-5022
FAX 076-234-4015

◆本紙の内容、その他の本学に関する諸情報については、「金沢大学ホームページ」(愛称“KUPIS”(キューピーズ))
(アドレス=<http://www.kanazawa-u.ac.jp>)でもご覧いただけます。
◆本紙に関する御意見・御要望などは、電子メール(E-mail) = general1@kenroku.kanazawa-u.ac.jp でも受け付けています。